

情報公開文書

研究の名称	Angular branch を用いた胸背動脈系肩甲骨皮弁による顎口腔再建 -肩甲回旋動脈併用基準の検討-
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	歯科口腔外科 教授 山田慎一
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 口の中やあごの骨にできるがん、あるいは放射線治療の影響によって、あごの骨に大きな欠損が生じることがあります。そのような場合、体の別の部位の骨や筋肉を使って、あごを再建する手術が行われます。 本研究では、肩甲骨（けんこうこつ：背中の肩の部分の骨）を用いたあごの再建手術について、どのような条件のときに、肩甲骨に流れる血管を1本だけ使う方法で十分なのか、あるいは2本の血管を併せて使った方がよいのかを、これまでの治療結果をもとに整理することを目的としています。 この研究によって、今後同じような手術を受ける患者さんに対して、より安全で無理のない再建方法を選ぶための参考になることを目指しています。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2028年3月31日</p> <p>【研究対象者】 本研究の対象となるのは、2008年4月から2018年3月までの期間に、当院において、あごの骨の欠損に対して肩甲骨（背中の肩の部分の骨）を用いた再建手術を受けられた方です。</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 本研究は、当院および所属講座の研究費を用いて実施されます。 本研究に関連する企業は存在せず、申告すべき利益相反はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 本研究で使用する情報は、通常の診療で記録された診療録や手術記録です。 研究に使用する際には、氏名や診療録番号など、個人を直接特定できる情報は削除し、研究用の番号に置き換えて取り扱います。 研究で得られた情報は、研究責任者が厳重に管理し、研究目的以外に使用することはありません。 また、研究結果を学会や論文などで公表する際にも、個人が特定されることは一切ありません。当該研究における個人情報の取扱いに関して、記載ください。</p>

	<p>【研究結果の公表の方法】 本研究の結果は、学会や医学系の専門雑誌で発表する予定です。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 本研究では、新たな試料の採取は行いません。 通常の診療の中で記録された、以下の診療情報を利用します。</p> <ul style="list-style-type: none">・年齢、性別、病気の種類・あごの欠損の部位と大きさ・再建手術の方法・再建に用いた肩甲骨の長さ・骨をどのように形づくったか（骨切りの数）・使用した筋肉や皮膚の組織・手術後の骨や皮弁の状態（生着の状況）・手術後の合併症の有無・放射線治療を受けたかどうかとその線量・術後の経過および観察期間
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	該当なし
⑤提供する試料・情報の取得の方法	該当なし
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 歯科口腔外科 山田 慎一、今上 修一 本研究は、他の医療機関や研究機関との共同研究ではありません。 また、診療情報を外部の機関や企業に提供することはありません。
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>電話番号：076-434-7383 E-mail：simaue@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：歯科口腔外科 今上修一</p>